

質問事項	質問の要旨
<p>1 新たな地域づくりへの取り組みは</p>	<p>町中心部の造成工事が本格的になりました。災害公営住宅のモデルルームも展示されて、少しは町民に希望が見えて欲しいと思います。</p> <p>8月20日、24日には、住民説明会が開催され、第2回目の個別面談結果や災害公営住宅、高台の募集スケジュールも発表されました。</p> <p>しかし、その一方、新たな不安も湧いてきます。そこで伺います。</p> <p>(1) 新たな地域、共同体づくり、コミュニケーションの取り方を、仮設住宅の再編も含めて、どのように取り組む考えですか。</p> <p>(2) 高台移転地への住人が決定してから、建築開始まで多少の時間がありますが、高台住宅地の景観、街並み等の考慮は、どの段階で行うのですか。</p> <p>(3) 自立再建の計画戸数が520戸に対し、希望が251戸。</p> <p>10月の募集で、また戸数の増減があると思いますが、その結果により、造成規模の縮小、あるいは地区の統廃合はどうなりますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 阿部 美紀子

質問事項	質問の要旨
2 特別職、非常勤の報酬を見直すべき	先日、民生委員推薦会に出席しました。1時間半
	ちよつとの会議に報酬が7,800円。
	税金から支出されていることを考え、特別職で非常勤の報酬の見直しを検討すべきと思いますが、いかがですか。
	(質問の相手：町長・担当課長)